

2021「若草プロジェクト」シンポジウム 国際ガールズデーに寄せて

——少女たちは世界を変える Girls have the potential to change the world.

SDGsの目標で日本が最も立ち遅れているのはジェンダー平等です。

すでに女性活躍に真剣に取り組んでいるたくさんの企業・団体がありますが、
女性活躍のスタートラインにすら立てていない少女たちがいます。

少女たちの現状を知っていただき、信頼される大人として、
一緒に世界を変えていきましょう。

参加費
無料

2021
10/30 sat

((会場)) 大妻女子大学本館E棟
055教室(地下1階)
東京都千代田区三番町12番地
((時間)) 13:00~16:00



第1部

「応援団の応援団」としての挑戦

第2部

あなたが背負ったものはなにか。
背負わなくてよいものはなにか。

第3部

みんなが動き始めた
~少女たちは世界を変える

若者世代も、大人たちも、企業も一緒にいろいろな立場の人々と意見交換しながら進めていきます。
皆様のご参加をお待ちしております。

ハイブリッド開催【リアルでも、オンラインでもご参加いただけます】

申し込み方法
について

若草プロジェクトのホームページ
wakakusa.jp.net
研修・イベントページから

または

こちらのQRコードから
応募してください。
*先着順で承ります。



*注1) 会場でご参加いただく場合、定員150名に達しましたら、
締め切りとさせていただきます。

*注2) オンラインでご参加いただく場合は、10月27日(水)までに
お申し込み下さい。

■主催／ 一般社団法人 若草プロジェクト

■共催／ 大妻女子大学共生社会文化研究所

■事業連携パートナー／ 株式会社 朝日エル

■後援／ 内閣府男女共同参画局、厚生労働省、法務省、千代田区、日本BBS連盟(申請中)

第1部 13:00～13:50

「応援団の応援団」としての挑戦

- コロナ禍での孤立・孤独、若年自死の増加と、背景。法律の後押しができるまで。
若草プロジェクト代表呼びかけ人 村木厚子
- 少女たちの問題の顕在化で、社会は動き始めた
NHK編成局展開戦略推進部 部長 福田和代
- 企業連携 新たな広がり プラットフォーム「TsunAが〜る」
若草プロジェクト 理事 福田万祐子
株式会社ファーストリテリング コーポレート広報部ソーシャルコミュニケーションチームリーダー シェルバ英子
株式会社朝日エル 会長 岡山慶子



村木 厚子
(一社)若草プロジェクト
代表呼びかけ人

津田塾大学客員教授等を務めるとともに「共生社会を創る愛の基金」等のNPO活動に携わり、誰もが生きやすい「共生社会」づくりをめざしている。



福田 和代
NHK編成局
展開戦略推進部部長

「NHKスペシャル」「クローズアップ現代+」など報道・ドキュメンタリー番組を多数制作。「生理の貧困」を問題提起し、反響を呼ぶ。



福田 万祐子
(一社)若草プロジェクト
理事

(株)MiWe(ミウィ)代表取締役。福田医院統括。支援現場と企業や社会をつなげ、少女たちの大きな応援団を作る取組に従事している。

第2部 14:00～15:15

あなたが背負ったものはなにか。 背負わなくてよいものはなにか。

- 若草プロジェクトの活動から見てきたこと
若草プロジェクト代表 理事 大谷恭子
- あなたが背負ったものはなにか。背負わなくてよいものはなにか。
社会学者 上野千鶴子
- 上野千鶴子さんに聞いてみよう! ～若者たちとのトークタイム



大谷 恭子
(一社)若草プロジェクト
代表理事

弁護士。様々な事件・問題に取り組みながら、社会的に弱い立場にある人の地位向上に尽力。生きづらさを抱える若年女性達に寄り添う支援活動を行っている。



上野 千鶴子
社会学者

東京大学名誉教授、認定NPO法人ウィメンズアクションネットワーク(WAN)理事長。若草プロジェクト呼びかけ人。女性学、ジェンダー研究のバイオニアである。

第3部 15:20～16:00

みんなが動き始めた ～少女たちは世界を変える

- 若草プロジェクトメンバーと動き始めた人たちとのトーク
コーディネーター：NHK編成局展開戦略推進部 部長 福田和代

動き始めた学生や企業の人たちが、今の思いとこれからアクションについて語り合います。当日のこの時間の参加者もチャットでご意見をお寄せいただけます。

シンポジウムに関するお問い合わせ先 ✉ email : info@ellesnet.co.jp



Little Women Project
若草プロジェクト
について

Girls have the potential to change the world —これは2011年、国連が毎年10月11日を「国際Girl's Day」と決めた時のスローガンです。少女たちの教育とエンパワーメントを推進し、一人一人が自分の人生の主人公になれるよう、世界各地で少女たちが自ら声をあげ、社会がこれを応援する取り組みが始まりました。その主旨に心から賛同し、誰も取り残さず、その「一人一人に寄添うこと」をミッションとし、困難な中にいる少女や若い女性たちを支援する為に2016年4月に、このプロジェクトを立ち上げました。

「Little Women」。「若草物語」の原題から、私たちも、「若草プロジェクト」というこの名前を決めました。緑豊かな草原はもとより、どんな荒地にあっても必ずやその1本1本の若草が、それぞれの場所で根を下ろし強く生きていってくれること、どんなに小さくてもそれぞれの花をつけてくれることを心から願い、信頼される大人として熱意と誠意を持って活動しています。